



千束地区自治会連合会 発行  
 地域力推進千束地区委員会

編集長 土屋 光一  
 事務局(千束特別出張所内) 電話 3726-4441

**コロナに負けるな！**  
 ～コロナ禍の中 各自治会・町会では～

コロナウイルスの爆発的な感染拡大は私たちの日常にも大きな影響を与えております。「ふるさと千束」では、千束地区の各自治会・町会へ、コロナ禍の中、どのように活動しているかお聞きしました。

**北千束北自治会 深澤 富治 会長**

回覧は回数を出るだけ少なくしてドアノブなどに吊るして次に回すようにしました。またコロナウイルス関係の情報を地域に早く・正確に伝える為、掲示板を全て1200mm×900mmのガラス戸付の大型のものにしました。

緊急事態宣言解除前と後の状況は、当地域では変化は少ないようですが、感染者が減少するにあたり人の移動は多くなり次の波が来ると思っていますので注意して行きたいと思います。



**大岡山北口商店街振興組合自治会 横尾 吉雄 会長**

新型コロナウイルスにより色々な面で大変な毎日ですが、感染予防対策についての行政、自治体の対応には大変感謝をしています。緊急事態宣言中の自治会会合はアルコール消毒等の対策を行い通常通り開催し、パトロールは密に注意し行っておりますが、予定していたイベントは開催出来ず大変寂しい思いです。早く通常の活動が出来る事を願うばかりです。

**長原自治会 土屋 光一 会長**

「交通安全運動」「地域安全運動」等の各啓発活動はポスター・のぼり旗の掲出のみを行い、「防災および各種訓練」は中止いたしました。

月1回の会議は密を避け、アクリル板のパーテーションを使い短時間の開催を心掛けました。今後の自治会活動はウイルスの感染状況を考慮し慎重に判断して参ります。

**石川町会 伊藤 正和 会長**

全家庭に除菌ウェットティッシュを配布し、防災訓練の際には、紙石ケン、軍手を参加者全員に配布しました。町会の会議については石川町文化センターの広い会議室を使用して間隔を空けて行い、パトロールは少人数の為2班に分けて実施しています。

解除後のマスクの着用は当分続くと思いますが、生活は徐々に元に戻るのではないかと思います。

**南千束東自治会 林 義雄 会長**

地球上になかった新型コロナウイルス。対策は三密を避け、マスクとうがいと手洗い、そしてワクチン接種。

緊急事態宣言発令により自治会活動は多くが延期や中止となりましたが、月2回発行の自治会ニュース、回覧板、掲示板、児童公園の清掃等は活動を続けてきました。これからも、コロナに負けず地域住民のため、活動をしていきます。

**千束西自治会 榎原 一夫 会長**

自治会会合は少人数で開催し自粛に努め、防災・防犯活動は回数を減らし実施しました。

また、東京都による助成を利用し、感染予防のチラシ・ポスター・抗菌シートを各家庭に配布し、感染予防対策の周知徹底を図りました。

まだ先の見えない状態ですが、規律を守り、一日も早くコロナ感染が終息されますように頑張ります。

**北千束東自治会 青木 輝代 会長**

緊急事態宣言が出てからは、イベント、会合等は中止になり、外出することが減り、人との会話も少なくなりました。が、電話は別、唯一の交流・発散の場です。最後の言葉が「いつ終息するんだろう！自由に行動が出来るのはいつかな」で終わります。オミクロン株による第6波等、心配の種は尽きませんが、3つの決まりだけは守って健康に留意していくことしかないでしょうね。自治会・町会の活動が一日も早く出来ることを願っています。

**北千束中自治会 山本 公一 会長**

自治会活動については役員の中で様々な意見がありましたが、毎月の役員会を2ヶ月ごとにし、交通安全、地域安全、火災予防は、緑道にのぼり旗を立てるのみで実施しました。パトロールは少人数で、空の下、マスク・手洗いの対策を立てれば安全と思われましたが、家に高齢者がいる等で心配する人もおり、すべて中止にしました。

変異ウイルス感染の心配は残りますが3回目のワクチン接種、新しい治療薬で、今年中にはほぼ安全宣言かも？



# 写真ギャラリー

## ～ 洗足池を訪れる野鳥たち その2 ～



カルガモの親子



東京都の鳥 ユリカモメ



日本最小のキツツキ コゲラ

「ふるさと千束」では、前号に引き続き、洗足池を訪れる野鳥を、南千束在住のアマチュアカメラマン **渡辺健三さん**の作品とともにご紹介いたします。



冬鳥の代表 ツグミ



餌探しに夢中なコサギ



幸せの青い鳥 オオルリ



成鳥のオスは美しい瑠璃色の羽根を持つルリビタキ

なお、今回はスペースの関係で一部の鳥の掲載となりましたが、渡辺さんの作品は洗足池駅前の洗足風致協会（ポートハウス）横にある休憩所にて、現在展示中ですので、是非、ご覧になってください。

渡辺さん、ありがとうございました。



洗足池は昔と比べ変化がありましたか？  
「最近の洗足池は、確かに整備されてきれいにはなりましたが、古木などが整理され野鳥たちには暮らしにくくなり、訪れる鳥の数が減っています。また、写真を撮る方が増えたのは良いのですが、カメラに夢中になり周囲が見えずマナーの悪い人を見かけます。これからも野鳥の自然の姿を写真に残していきたいと思っています。」



桜の実が大好き コムクドリ



# わたしの仲間

その14

## 図工教室 スタジオオカリーン

スタジオオカリーンでは、図工や絵画、アクセサリー作りをしています。ものづくりを通して、生活を素敵に彩れたらと思って活動しています。

清水窪小学校のわくわくスクールや北千束北自治会館で、小学生向けに図工や絵の講座を開いています。また、大人を含めた中学生以上の方には、それぞれの希望に合わせた美術の講座をスタジオで行っています。



本格的な道具や材料を使って、作ることを楽しむだけでなく、

く、持ち帰って部屋に飾ったり身に着けたりして長く楽しめる様な作品を作っています。子供も大人も出来上がったものを見て、自分にもこんなに素敵なものを作れるなんてと驚いてくれる事がとても嬉しいのです。



スタジオは大岡山北口商店街中程の自転車屋さんの向かいです。商店街に面した二階の出窓に季節ごとのディスプレイをしています。6月からは梅雨の、7月からは夏のイメージで飾る予定です。飾りはダンボールにペイントして手作りしたものがほとんどです。八口ウィンやクリス



マスの飾りを作るのは特に楽しいです。商店街を通られる時には、ご覧になってください。ご興味のある方は、メールにてご連絡ください。

代表者 小木 昌美  
ma-ogi@t.vodafone.ne.jp

千束地区管内の数字		
人 口	男	11,523人
	女	13,102人
	計	24,625人
世帯	13,570世帯	

令和4年4月1日現在

ふるさと千束

バックナンバー

大田区ホームページで公開中です。



[https://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts\\_senzoku/jouhoushi/index.html](https://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_senzoku/jouhoushi/index.html)

## 編集後記

二〇二〇年二月、横浜港のクルーズ船から始まった日本でのコロナ騒動。デルタ株から、オミクロン株へと変異して今や、オミクロン株は世界の主流になりました。以前聴いて心に留めていた言葉があります。「有り難い」とは「起こりにくい」という意味だと。県をまたいでの旅が出来たときの「有り難い」。レストランで親しい人と笑いあってお酒が飲める「有り難い」。マスクをせずに思い切り息を吸って呼吸出来る「有り難い」等々。全部「起こりにくい」ことだと言えます。もしかしたら規則や抑圧は、「有り難い」ことなのかもしれない。三回目のワクチン接種が始まりました。

M・O 記